

平成30年度特別支援教育に関する実践研究充実事業  
 (次期学習指導要領に向けた実践研究)  
 成果報告書 (概要)

受託団体名
山口県教育委員会

## 1 指定校の一覧

設置者	学校種	課程又は障害種	学校名 (ふりがなを付すこと)
山口県	特別支援学校	視聴知肢病	けんりつう べ そうごうし えんがっこう 県立宇部総合支援学校
山口県	特別支援学校	視聴知肢病	けんりつやまぐちみなみそうごうし えんがっこう 県立山口南総合支援学校

### ※協力校 (モデル校の取組をサポートする学校)

設置者	学校種	障害種	学校名 (ふりがなを付すこと)
山口県	特別支援学校	視聴知肢病	けんりついわくにそうごうし えんがっこう 県立岩国総合支援学校
山口県	特別支援学校	視聴知肢病	けんりつ た ぶ せ そうごうし えんがっこう 県立田布施総合支援学校
山口県	特別支援学校	視聴知肢病	けんりつしゅうなんそうごうし えんがっこう 県立周南総合支援学校
山口県	特別支援学校	視聴知肢病	けんりつとくやまそうごうし えんがっこう 県立徳山総合支援学校
山口県	特別支援学校	視聴知肢病	けんりつほう ふそうごうし えんがっこう 県立防府総合支援学校
山口県	特別支援学校	視聴知肢病	けんりつやまぐちそうごうし えんがっこう 県立山口総合支援学校
山口県	特別支援学校	視聴知肢病	けんりつしものせきみなみそうごうし えんがっこう 県立下関南総合支援学校
山口県	特別支援学校	視聴知肢病	けんりつしものせきそうごうし えんがっこう 県立下関総合支援学校
山口県	特別支援学校	視聴知肢病	けんりつとようらそうごうし えんがっこう 県立豊浦総合支援学校
山口県	特別支援学校	視聴知肢病	けんりつはぎそうごうし えんがっこう 県立萩総合支援学校

## 2. 事業の実績

### (1) 事業の実施日程

実施時期	実施内容	評価事項
平成 30 年 4 月～ 平成 31 年 1 月	技能検定各種目別検討協議会 (指導者講習会を含む)	各種目別に研究を推進、 成果と課題の検討
平成 30 年 5 月	技能検定事務局連絡協議会 (兼事業推進協議)	・今年度の方向性と新学

	会、教科指導検討協議会)	習指導要領の趣旨に合致しているか検討 ・指導書の作成を通して、教育課程の検討、教科指導の充実
平成 30 年 7～8 月	新学習指導要領校内研修 (指定校 2 校、協力校 10 校)	新学習指導要領の円滑な実施に向けての確実な理解・促進を図るための講義及び協議
平成 30 年 8 月	5 部門での本検定 (喫茶サービス、清掃、介護、食品加工、流通・サービス)	本検定の実施によるアンケート調査
平成 30 年 9 月、平成 31 年 3 月	新職業学科及び職業コース設置予定校 (指定校) 連絡会議	・新学習指導要領を見据えた新たな教育課程の検討 ・新学習指導要領の目指す目標の確実な理解
平成 31 年 1 月	特別支援学校作品展 (ゆめタウン徳山店)	作業製品の販売と地域の理解啓発
平成 31 年 1 月	先進県学事訪問 (東京都立志村学園、東京都立港特別支援学校)	県外の先進校等を視察し、職業教育の充実を推進
平成 31 年 2 月	平成 30 年度山口県特別支援学校技能検定推進協議会	・県施策の円滑な推進についての協議 ・今年度の成果と課題、次年度に向けた協議

## (2) 研究課題

山口県特別支援学校技能検定「きらめき検定」やコミュニティ・スクールの取組を生かし、特別支援学校の教育課程や作業学習等の授業における指導内容・方法、評価の改善について研究する。

## (3) 研究の概要

本県では、障害のある子どもの自立・社会参加に向けた就労意欲の向上やコミュニケーション能力の育成、自己有用感の向上等が課題となっており、自己のもつ能力や可能性を最大限に伸ばしていくためには、一人ひとりの障害の状態等に応じたきめ細かな指導及び評価を一層充実することが必要である。

このため、特別支援学校技能検定「きらめき検定」の開発・充実やコミュニティ・スクールの導入に取り組んできており、これらの取組は、「主体的・対話的で深い学び」や「社会に開かれた教育課程」の実現をめざす新学習指導要領と目指すべき方向が一致している。

上記の開発研究と実施の過程で得られるであろう「生徒が学ぶことに興味や関心をもち、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の取組を振り返って次につなげる」活動の成果と改善項目を明確にすることで、今後のキャリア教育や作業学習等の授業の充実につなげていくことができるよう研究を進める。

そして、本県ならではの職業教育の充実という視点からも新学習指導要領を土台とし、きらめき検定の取組ともリンクさせながら新職業学科や職業コースにおける教育課程の検討を進めていく。

また、コミュニティ・スクールの仕組みを生かした、企業等の専門家等との連携による授業実践や販売活動、地域との日常的な交流を取り入れた、教育課程の改善についても検討を進め、新学習指導要領の円滑な実施に資することとしたい。

#### (4) 研究の成果

ア きらめき検定について

- 「喫茶サービス」「清掃」「介護（シーツセット）」「食品加工」「流通・サービス」5部門全てにおいて本検定を実施した。
- 生徒の真剣な取組を見守る保護者の就労に向けた意識を高めることができた。
- 技能検定のマニュアルや評価項目の検討の取組は、授業における指導目標や指導内容・方法の明確化とともに、県全体の作業学習等の指導の平準化と向上の契機となり、各学校で教育課程の改善を図ることにつながった。
- きらめき検定の評価表や検定終了後の審査員の助言を教員と生徒が共有することで、「何を、どのように学ぶか」が明確となり、生徒は検定後の日々の学校生活、授業（特に作業学習）に意欲的、主体的に学習に取り組むようになった。

イ 特別支援学校における地域等と連携した開かれた教育課程の検討について

- 新学習指導要領の趣旨の理解や円滑な実施に向けての留意事項等の周知を図ることができた（県内全ての県立特別支援学校）。
- 管理職や作業学習担当教員を中心に、先進校の教育課程の検討や各校における成果と課題を通して、自校における教育課程等の改善事項、知的障害教育における各教科等の指導の重要性を理解し、キャリア教育や教育課程の在り方について検討することができた。
- 地域の商業施設での作業学習等における製品の販売を通して、生徒は、日々の学習活動と販売等の学校外での活動とのつながりを実感するとともに、働くことや将来の仕事について改めて考える機会を得ることができた。

#### (5) 課題と今後の方策

ア きらめき検定の更なる充実

△ 技能検定の学習内容の教育課程への位置付けを工夫し、検定と日々の学習指導との双方向のフィードバックをさらに促進する必要がある。

→ 各学校へ指導マニュアル等を配布するとともに、教育課程の改善や指導方法の充実に向けて管理職や教務部等と連携を図る。

- △ 技能検定の指導マニュアルを継続的に改善し、教員の専門性を向上する必要がある。
  - 外部の有識者と連携し、各部門の検討協議会において継続的に検討を進める。
- △ 技能検定の評価表の妥当性の検証等により、検定に関連する作業学習における指導の内容や評価の妥当性、客観性を高めていく必要がある。
  - 各部門の検討協議会において、継続的に見直しを行い、より本県の生徒の実態に応じた、検定後の生徒への一層の指導の充実につながる評価表を作成していく。
- △ 生徒の可能性や将来の社会生活につなげるため、企業や福祉サービス事業所等とのつながりを深め、授業の取組や検定の内容について周知を図っていく必要がある。
  - 取組を紹介するリーフレットを作成するとともに、県労働政策課や障害者支援課と連携して各関係機関に配布し、周知を図る。
  
- イ 特別支援学校における地域等と連携した開かれた教育課程の検討
- △ 各学校において具体的な検討や調整を行うための参考資料の必要性。
  - これまでに訪問した先進校の教育課程や新学習指導要領の要点をまとめ、各学校に配布するとともに、必要に応じて各学校の教育課程（指導法）検討協議会に出席し、協議及び情報交換を行う。